

2021年12月期 第2四半期 決算補足説明資料

2021年8月12日

1	2021年12月期 2Qの総括	・・・ P3
2	2021年12月期 2Qの業績とトピックス	・・・ P5
3	セグメント別の事業状況	・・・ P12
4	Appendix（参考情報）	・・・ P19

2021年12月期 2Qの総括

1 2021年12月期 2Qの総括

- ✓ 海外Fintechを中心に業績が堅調に推移した結果、2021年12月期 2Qは 営業収益109.1億円、営業利益26.1億円といずれも最高収益・利益で推移
- ✓ 2021年6月に実施した連結子会社の株式譲渡により、7.5億円の特別利益を計上。当期純利益は24.9億円と当初の業績予想である20億円を達成。
- ✓ 株式譲渡による業績効果などを加味し、2021年12月期 通期業績予想の上方修正を実施。当期純利益31億円の達成に向け引き続き事業を推進。

上期の堅調な業績推移を背景に通期の業績予想を上方修正

2021年12月期 2Qの業績とトピックス

2 2021年12月期 2Qの連結業績推移

- 2021年12月期 2Qの業績は営業収益109.1億円、営業利益26.1億円、親会社株主に帰属する当期純利益24.9億円といずれも前年同期比で大幅な増収・増益（黒字化）にて継続推移。

	2021年12月期			2020年12月期 2Q 累計実績*2	増減額
	1Q 実績	2Q 実績*1	2Q 累計実績		
営業収益	54.0 億円	55.0 億円	109.1 億円	2.5 億円	+106.5 億円
営業総利益	33.1 億円	28.5 億円	61.6 億円	1.8 億円	+59.7 億円
営業利益	15.0 億円	11.0 億円	26.1 億円	△1.3 億円	+27.5 億円
経常利益	15.0 億円	11.3 億円	26.3 億円	△1.4 億円	+27.7 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	9.9 億円	14.9 億円	24.9 億円	△2.0 億円	+27.0 億円
1株当たり当期純利益 (2Q) *3	6.16 円	9.24 円	15.40 円	△5.93 円	+21.33 円
為替レート (韓国ウォン)	0.0952 円	0.0965 円	0.0965 円	-	-

*1：2021年12月期2Qの決算数値は「1月-6月の期中平均の為替レート」を採用。従前の四半期決算数値（1Q）と当決算数値（2Q）においては、為替レートによる実績差異が発生することから当該差異は2Q実績として計上

*2：2020年12月期2Qの実績は、勘定科目の見直しに伴い一部科目間の組み替えを実施

*3：親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 発行可能普通株式総数にて算定（「P.21：1株当たり当期純利益・純資産の考え方」参照のこと）

2 修正前の業績予想に対する進捗状況

- 修正前の2021年12月期 通期業績予想に対する各業績の進捗率は、「海外Fintechの順調な業績推移」と「円安に伴う為替効果」により、**営業収益が54.6%、営業利益・経常利益がそれぞれ87.2%・87.7%**と半期ベースにおいて計画増で推移。
- 2021年6月に実施した連結子会社（SAMURAI証券・SAMURAI ASSET FINANCE）の**株式譲渡による売却益を特別利益として計上**したことにより、**親会社株主に帰属する当期純利益は24.9億円**と、**通期業績予想に対して124.8%**の進捗を達成。

	2021年12月期		
	通期 業績予想	2Q 累計実績	進捗率・推移
営業収益	200.0億円	109.1億円	① 54.6%
営業利益	30.0億円	26.1億円	87.2%
経常利益	30.0億円	26.3億円	87.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20.0億円	24.9億円	② 124.8%
為替レート（韓国ウォン）	0.0907円	0.0965円	③ +6.4%

- ① **営業収益の計画増**
海外Fintechが牽引
- ② **子会社株式の譲渡**
による利益 **7.5億円**
- ③ **円安による為替効果**
収益・利益向上

海外Fintechの順調な業績推移と子会社株式の譲渡により、**当期純利益の業績目標を2Qで達成。**

2 連結子会社の株式譲渡に伴い業績予想を上方修正

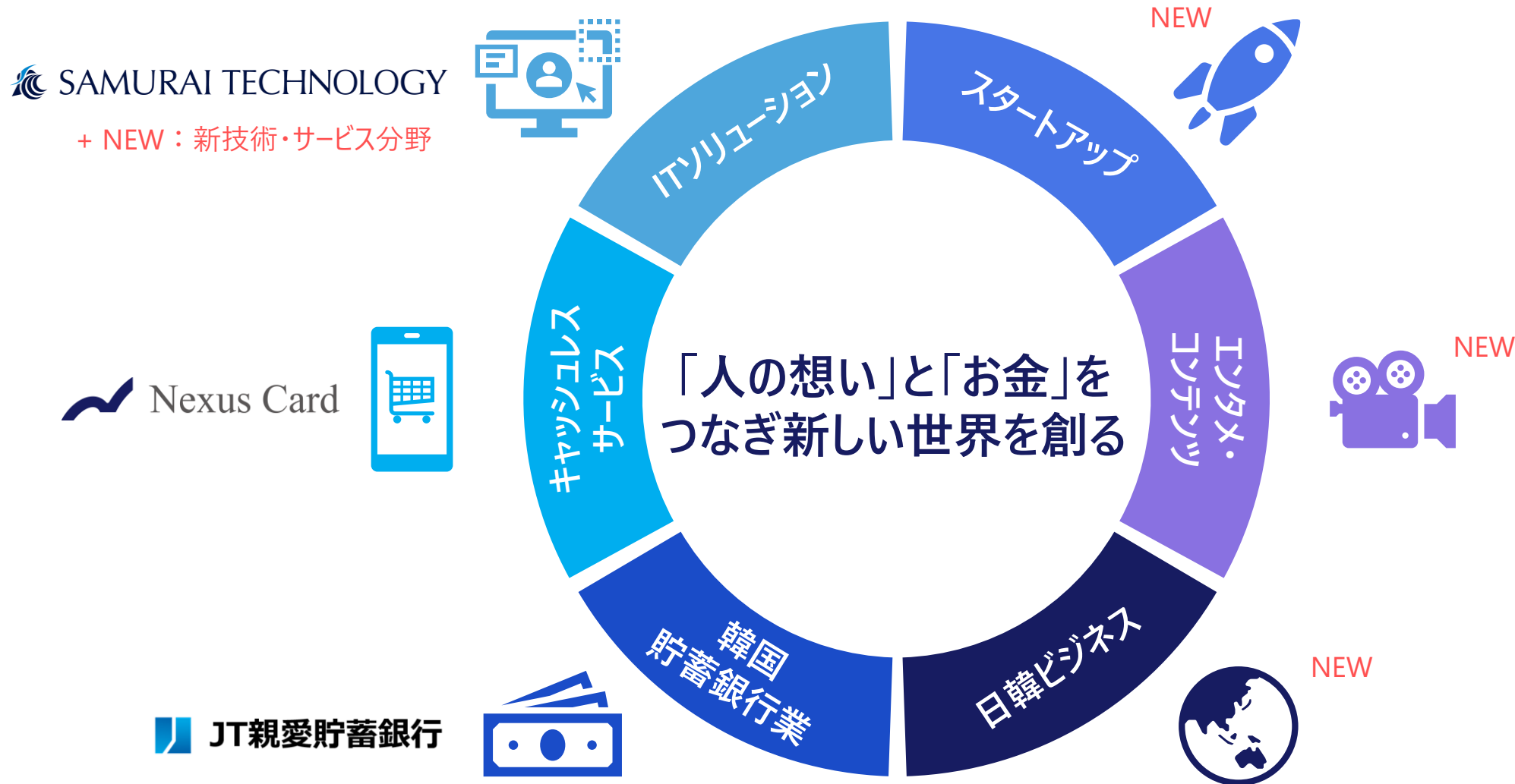
- 2021年6月に実施した連結子会社の株式譲渡による業績効果などを踏まえ、**業績予想の上方修正**を実施。
- 2021年12月期通期における新たな業績目標である**営業収益200億円、営業利益35億円、経常利益35億円、当期純利益31億円**の達成に向け、引き続き、海外Fintechを主軸とした既存事業の推進とともに、事業領域拡大に向けた投資活動を進めていく。

	2021年12月期 通期業績予想			2021年12月期 予実状況	
	修正前	修正後	増減率	2Q 累計実績	進捗率
営業収益	200.0 億円	200.0 億円	-	109.1 億円	54.6%
営業利益	30.0 億円	35.0 億円	+16.7%	26.1 億円	74.8%
経常利益	30.0 億円	35.0 億円	+16.7%	26.3 億円	75.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20.0 億円	31.0 億円	+55.0%	24.9 億円	80.5%
為替レート (韓国ウォン)	0.0907 円	0.0907 円	-	0.0965 円	+6.4%

新たな業績目標の達成に向け、**既存事業の推進と事業領域拡大に向けた投資活動に注力。**

2 今後の当社の事業方針

- 「人の想い」と「お金」をつなぎ新しい世界を創ることを目指すべく、既存事業である韓国貯蓄銀行の安定成長とキャッシュレスサービス及びITソリューションの更なる成長に向けた事業活動を進めるとともに、新たな事業領域の開拓に向けた投資活動を進めていく。



2 バランスシートの状況 (参考)

2020年12月期 通期：1ウォン = 0.0952円（2020年12月末日時点） / 2021年12月期 2Q：1ウォン = 0.0978円（2021年6月末日時点）

単位：億円

		2020年12月期 通期	2021年12月期 2Q	増減額
資産の部	流動資産	2,076.8	2,188.0	+111.2
	現金及び預金	188.4	167.6	△20.8
	営業貸付金	1,774.4	1,897.2	+122.8
	その他（含：貸倒引当金）	113.9	123.1	+9.2
	固定資産	46.8	47.3	+0.5
	総資産合計	2,123.6	2,235.4	+111.7
負債・純資産の部	負債	1,881.8	1,955.2	+73.3
	流動負債	1,858.1	1,928.0	+69.9
	銀行業における預金	1,777.1	1,879.9	+102.7
	未払費用	27.2	22.6	△4.6
	その他	53.6	25.4	△28.2
	固定負債	23.7	27.2	+3.4
	純資産	241.7	280.2	+38.4
	負債・純資産合計	2,123.6	2,235.4	+111.7

2 連結業績の損益状況（参考）

2021年12月期 2Q：1ウォン = 0.0965円（2021年1月-6月期中平均）

単位：億円

		2020年12月期 2Q累計*	2021年12月期 2Q累計	増減額	
連結業績	営業収益	2.54	109.13	+106.58	
	営業費用	0.71	47.50	+46.78	
	営業総利益	1.83	61.63	+59.79	
	販売費及び一般管理費	3.22	35.46	+32.23	
	営業利益	△1.38	26.17	+27.55	
	経常利益	△1.41	26.30	+27.71	
	親会社株主に帰属する当期純利益	△2.07	24.95	+27.02	
	1株あたり当期純利益（円）	△5.93	15.40	+21.33	
セグメント別の業績	Fintech事業	営業収益	1.19	107.70	+106.51
		営業利益	△0.46	28.61	+29.08
	ITソリューション事業	営業収益	1.07	1.06	△0.01
		営業利益	0.20	0.15	△0.05
	その他	営業収益	0.28	0.36	+0.08
		営業利益	0.25	0.33	+0.08

*2020年12月期2Qの実績は、勘定科目の見直しに伴い一部科目間の組み替えを実施

セグメント別の事業状況

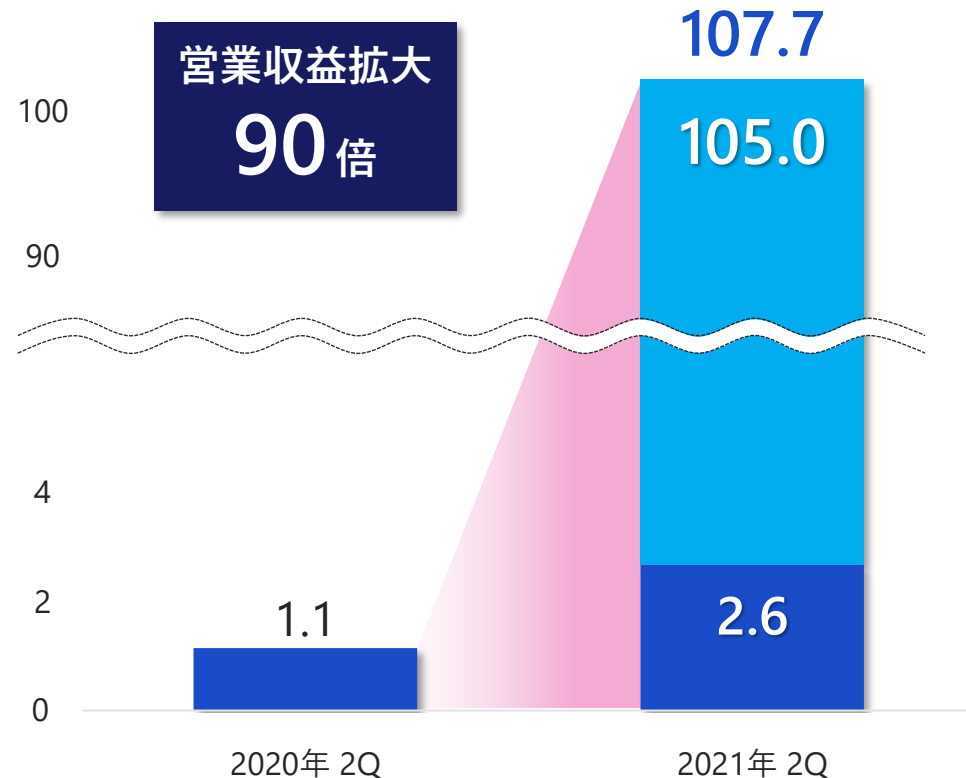
3 業績状況 – Fintech事業

- 2020年11月の大型M&Aによる連結効果を半期を通して反映したことにより、**営業収益は107.7億円と前年同期と比べ90倍の大幅な増収**で推移。営業利益についても収益の大幅な増加により**28.6億円と半期ベースで黒字化を継続達成**。

営業収益の推移

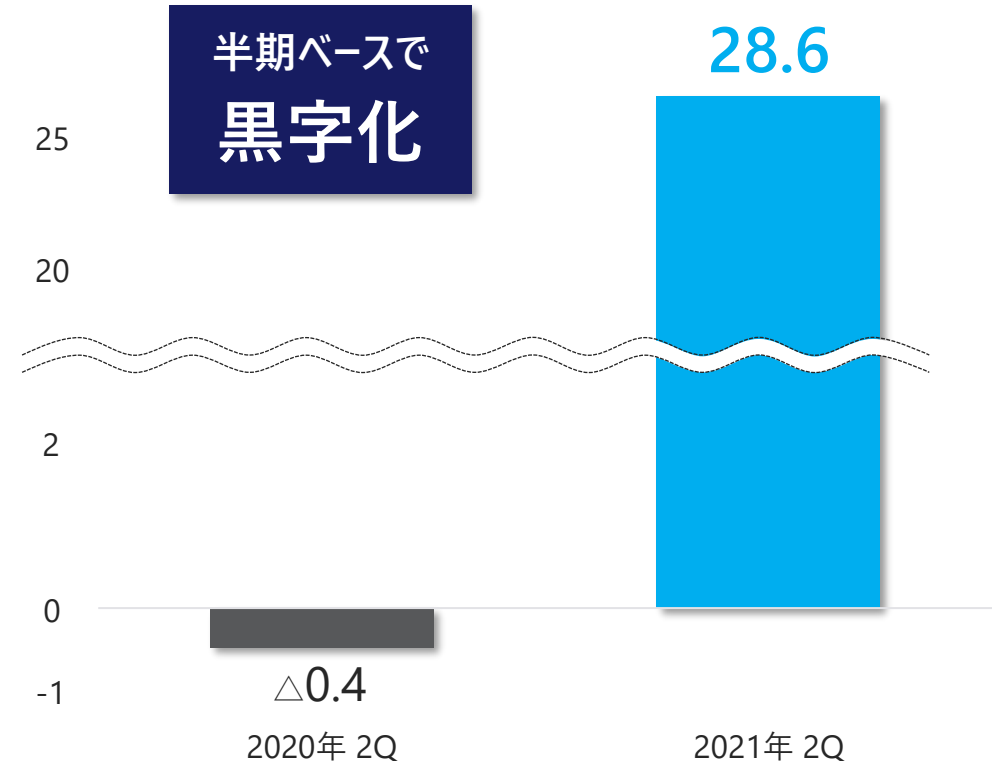
単位：億円

■ 国内エリア ■ 海外エリア



営業利益の推移

単位：億円

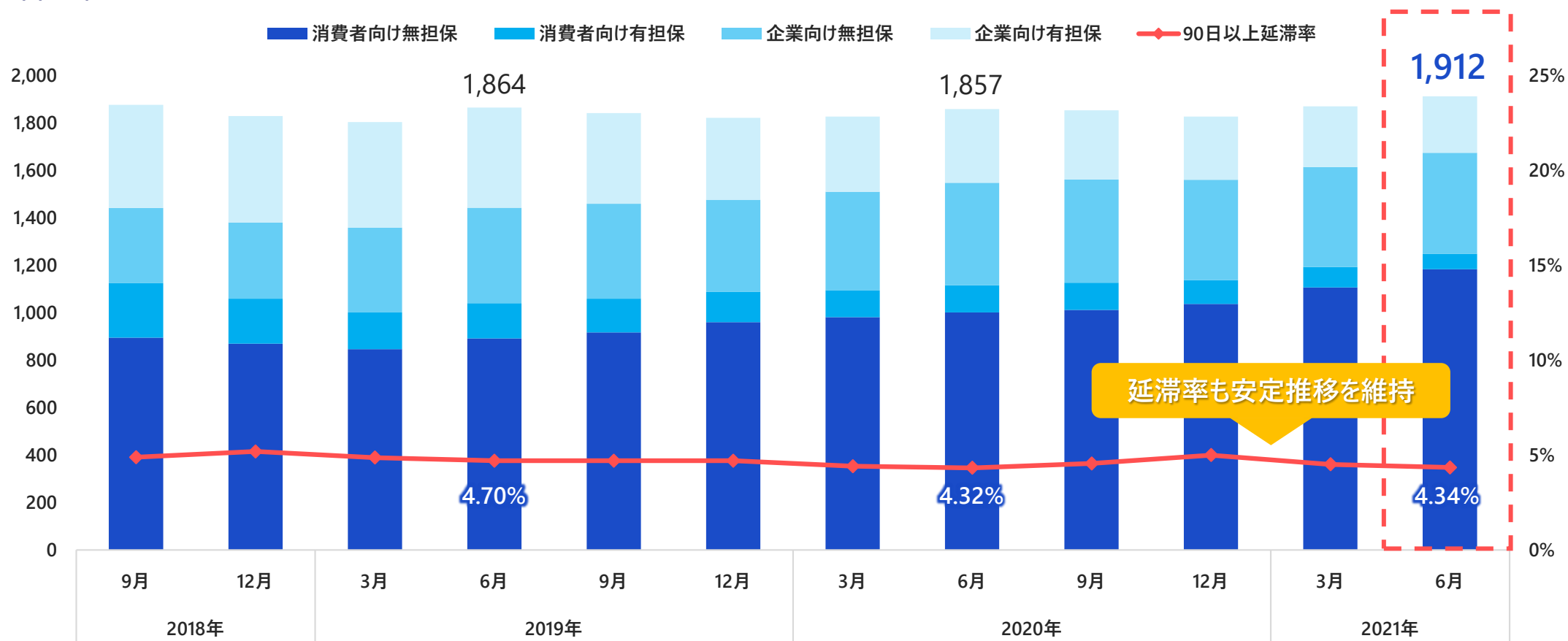


3 Fintech事業 – 海外エリア JT親愛貯蓄銀行における貸付残高の推移

- 韓国政府による規制強化や新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞が懸念される環境下において、徹底した顧客分析と審査による貸付を継続した結果、**中金利帯の個人向け貸付が堅調に推移**。

貸付残高の推移 (K-GAAP基準*)

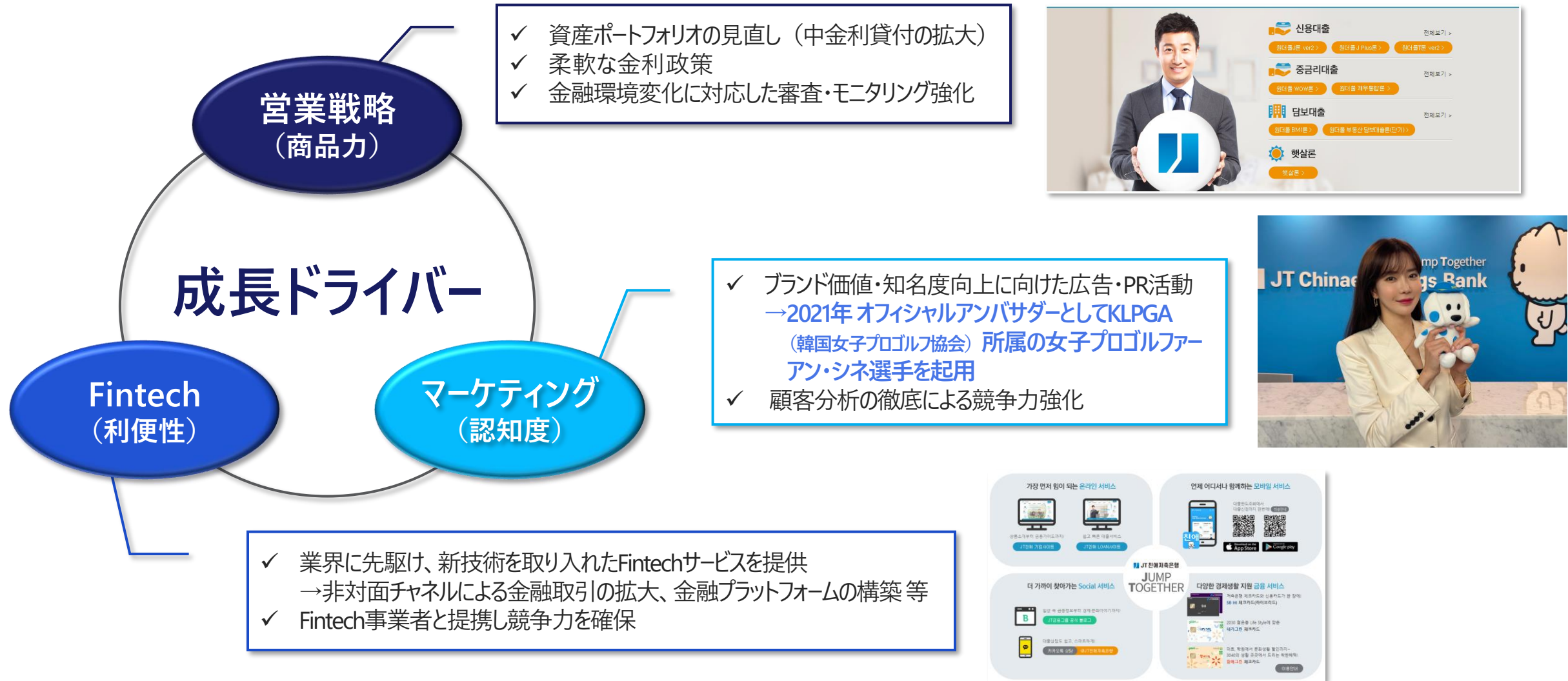
単位：億円



* 韓国現地の会計基準
為替レート：1 ウォン=0.0978円 (2021年6月末日時点)

3 Fintech事業 – 海外エリア 三位一体の事業戦略による安定成長

- 外部環境の変化に柔軟に対応した営業戦略とFintech技術への継続的な投資活動、顧客分析の徹底によるマーケティング活動が、有機的に結びつくことにより、**高い競争力を維持**。



3 Fintech事業 – 国内エリア

新ブランド“Nexus Card”によるキャッシュレスサービスの展開

- 2021年5月1日に実施した商号変更（Nexus Card株式会社）にあわせ、**既存のサービス名称・デザイン及びコーポレートサイトを刷新。**
- 新ブランドである**“Nexus Card”**のデポジット（保証金）型クレジットカードサービスの普及を進めるべくプロモーション活動に注力。



Nexus Card
Nexus Bankグループ

ログイン

カードをつくる / Web会員サービス / その他サービス / お問い合わせ / よくあるご質問

Nexus Card
デポジットタイプ

お申し込みはこちら

Nexus Cardお申し込み検討中の方へ
—— Nexus Cardはこのようなカード ——

ネットショッピングもできて、支払いが楽払い。しかも「みんなりぽ」に登録すれば、毎月定額のお支払いで大丈夫。

保証金（デポジット）額に応じてカード利用可能枠を決めることができるため、使いすぎる心配はありません。

カードを無くしたり、盗まれて不正利用された被害を一定の基準で補償します。※最寄りの警察署への届出が必要となります。

Web明細に対応しているので、お持ちのスマホやパソコンからご利用明細の確認が可能です。

カードラインナップはこちら

サービス内容



デポジット型クレジットカードの特徴

- 1 保証金（デポジット）の額に応じてカードの利用が可能
- 2 多言語（9カ国語）対応が可能

プロモーション活動

新ブランドの認知度向上・新規会員獲得に向けたプロモーション活動に注力

オンライン動画広告（イメージ）



Nexus Card
ポイントサービスについて

ポイントサービス
お買い物はもちろん、公共料金（電気・ガス）や通信料のお支払でNexusポイントが貯まります。

200円の利用につき1ポイント
Nexusポイントが貯まる！

Amazonギフト券
App Store & iTunesコード等
デジタルギフトに交換できる

Nexus Card

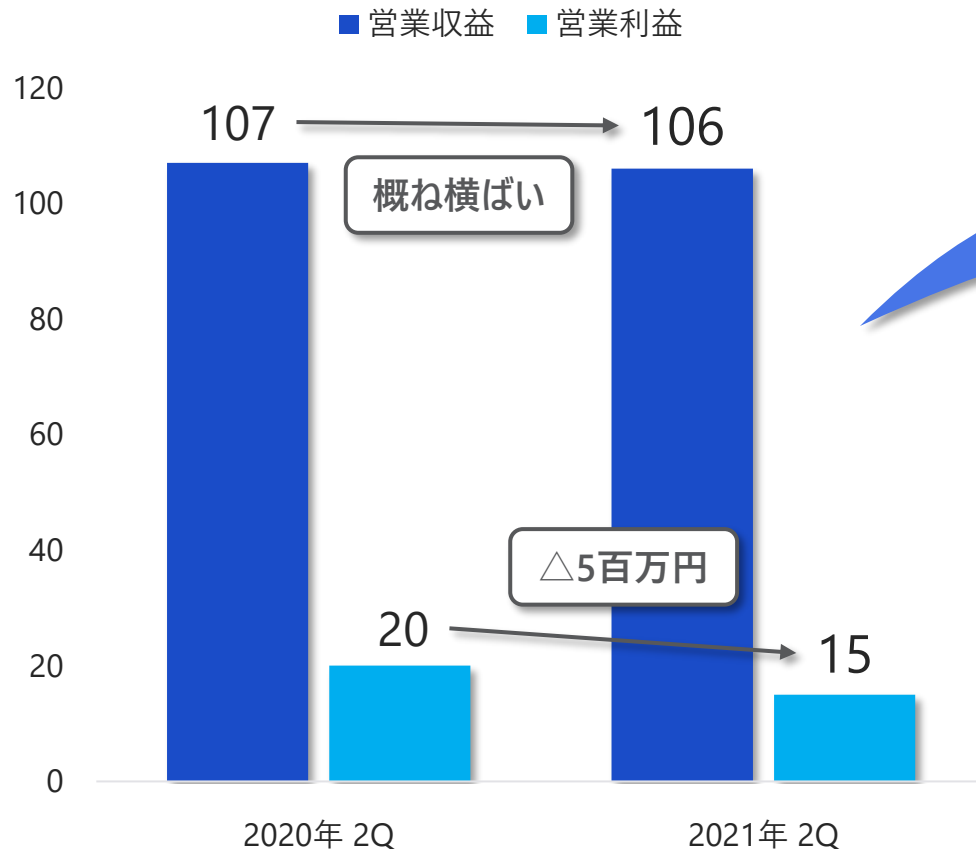
URL : <https://www.nexuscard.co.jp/>

3 事業状況 – ITソリューション事業

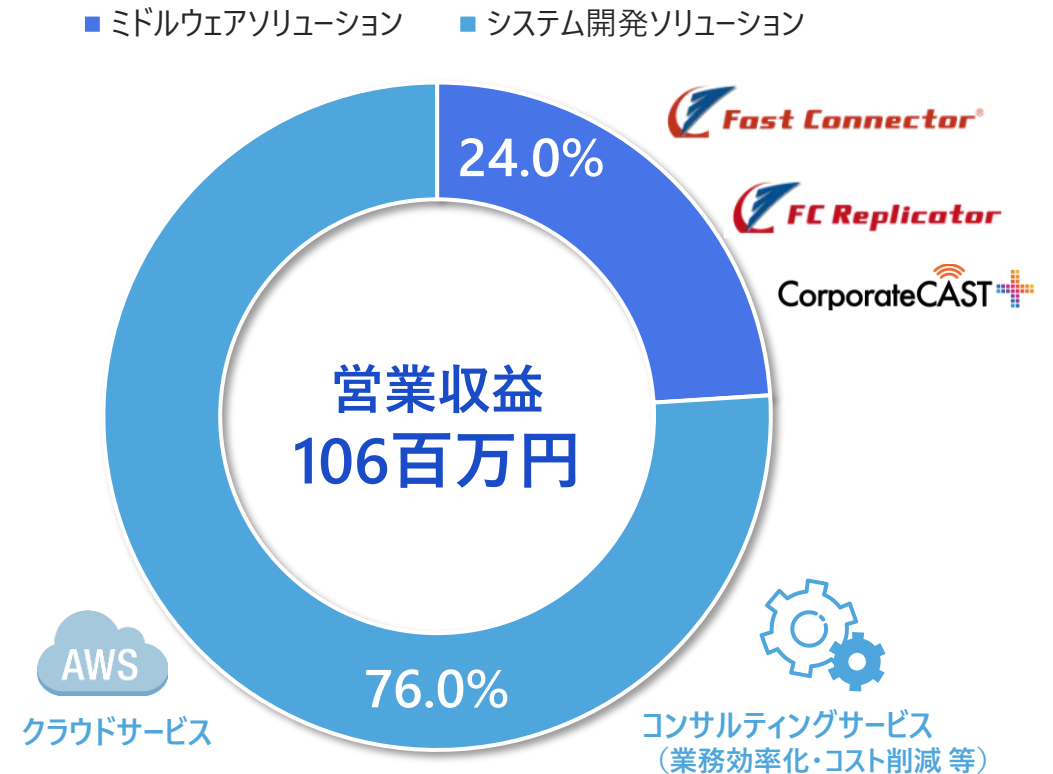
- 継続的な新規の案件受注により、営業収益は106百万円と前年同期と比べ概ね横ばいで推移したものの、既存開発案件へのリソース集中による営業費用の拡大に伴い、営業利益は5百万円減益の15百万円で推移。

ITソリューション事業の業績推移

単位：百万円



営業収益の構成比

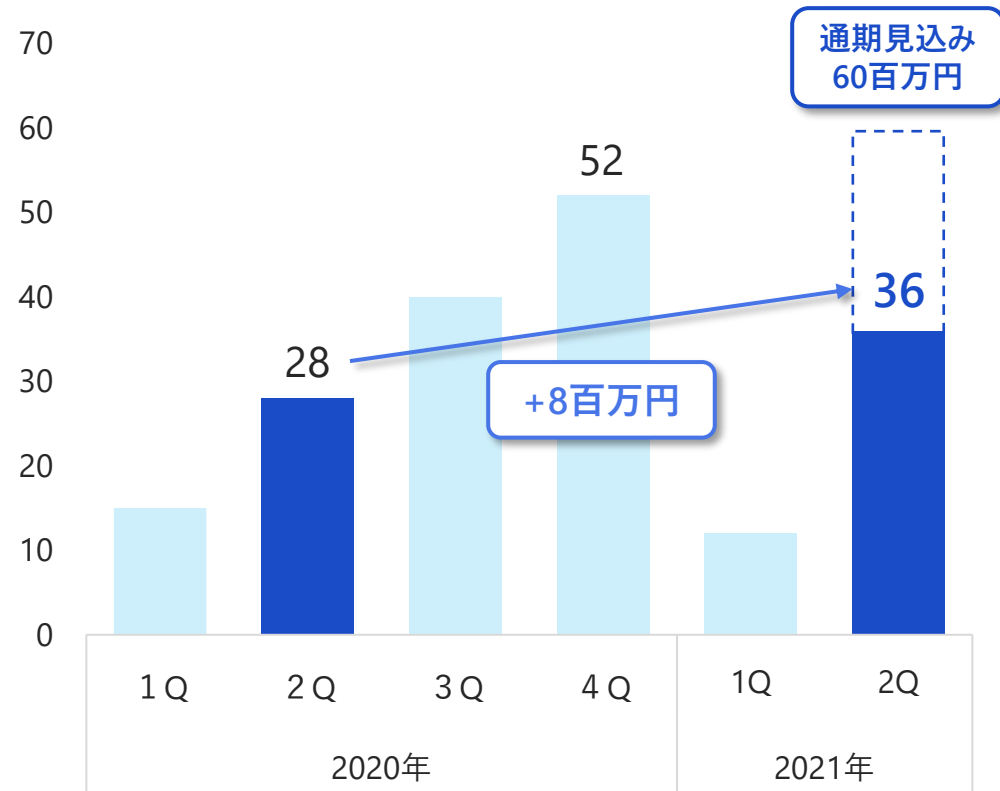


3 事業状況 – その他

- 大阪市中央区東心斎橋の不動産賃貸収益の他、2021年6月に実施した株式譲渡に伴い、前連結子会社との内部取引の一部をその他の収益として計上した結果、前年同期比において増収・増益で推移。

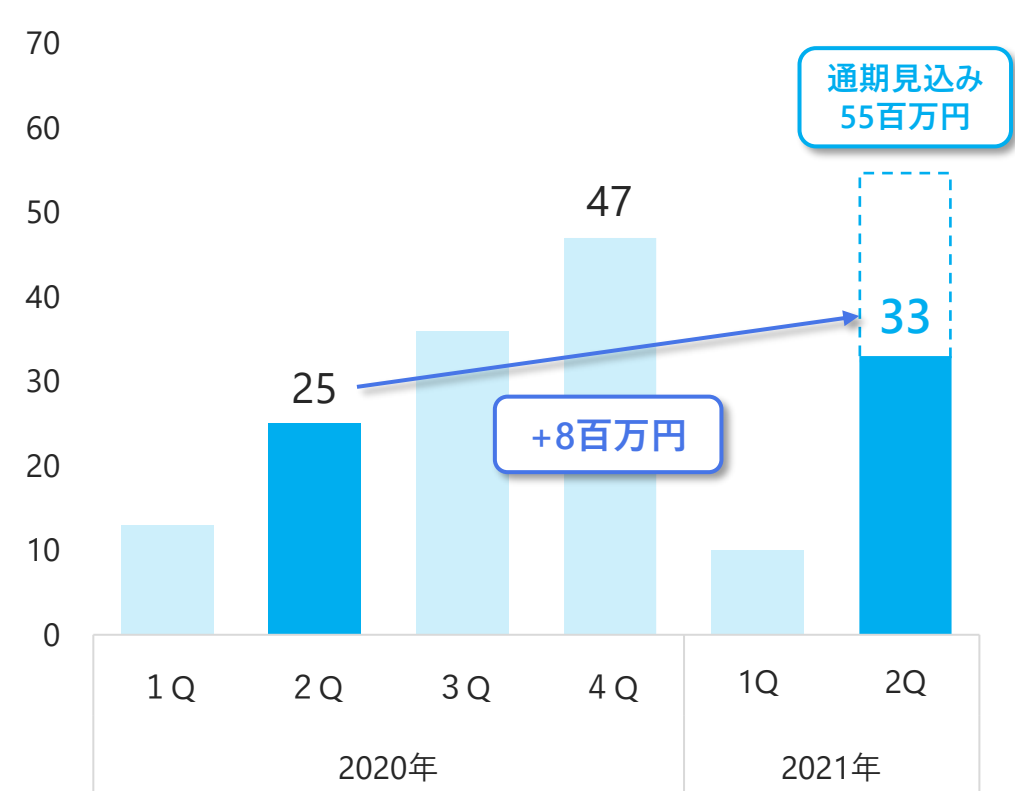
営業収益の累計推移（四半期別）

単位：百万円



営業利益の累計推移（四半期別）


単位：百万円



Appendix (参考情報)

4 クラウドファンディング関連の連結子会社を売却

- 2021年6月24日、クラウドファンディングサービスを展開するSAMURAI証券及びSAMURAI ASSET FINANCEの全株式を売却。
- 今後は、韓国貯蓄銀行業・キャッシュレスサービス・ITソリューションの3つのサービスを主軸として事業を展開。

 Nexus Bank … グループ全体の事業運営・推進及び投資活動

Fintech
事業

海外

韓国国内における貯蓄銀行業
(預金の預かり、資金貸付、手形割引等)

 JT親愛貯蓄銀行

国内

個別信用購入あっせん業及びクレジットカード
による立替取引サービス

 Nexus Card

ITソリューション
事業

独自開発システムの販売及び、ITシステムの
受託開発・保守・運用サービス

 SAMURAI TECHNOLOGY

株式譲渡により全株式を売却 (2021年6月)

投資型・個人向クラウドファンディングプラット
フォームの運営・商品提供

 SAMURAI証券  SAMURAI
ASSET FINANCE

みなし売却日*を2021年3月末とし、
2021年2Qの業績は連結対象から除外

*子会社の株式売却日等が決算日以外の日である場合に、当該日の前後いずれかの決算日に株式の売却等が行われたものとみなして処理した場合の当該日

4 1株当たり当期純利益・純資産の考え方

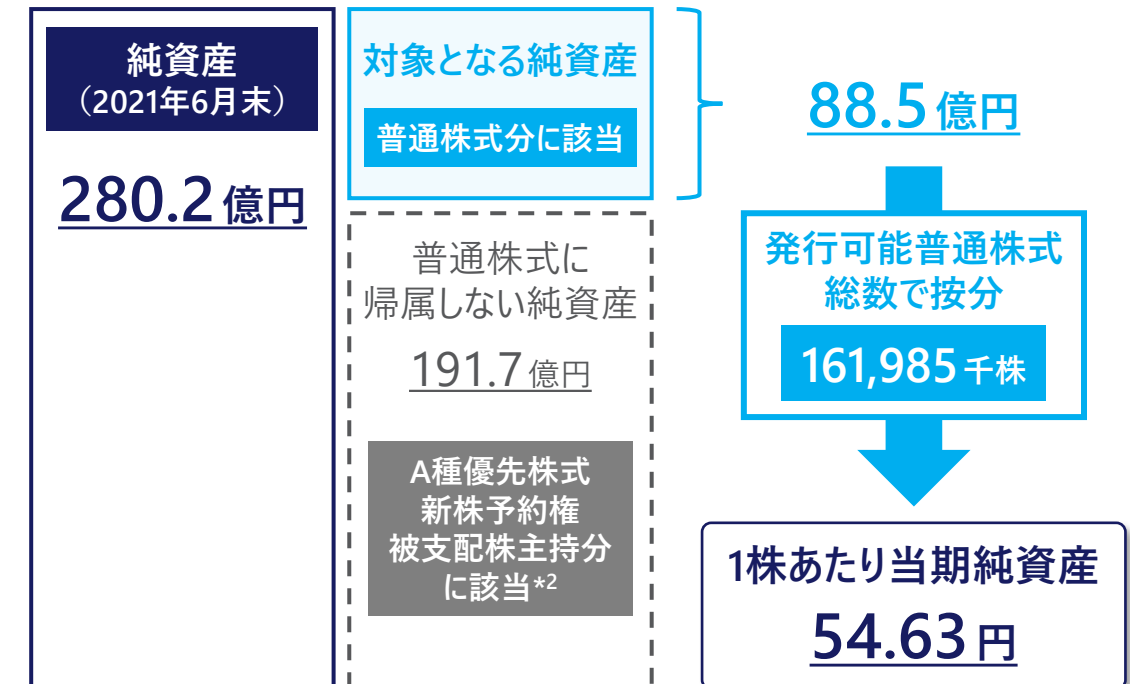
- 2020年11月の大型M&Aにおいて発行したA種優先株式（配当分配：普通株式と同順位、残余財産の分配：普通株式より優先）の状況を踏まえ、1株当たり当期純利益・純資産の算定については以下の方式を採用。

1株あたり当期純利益の算定

	2021年12月期 2Q 累計実績	
	発行済普通株式数	発行可能普通株式総数
① 親会社株主に帰属する当期純利益（6カ月分）		24.9億円
② 算定において適用する株式数	45,236千株 (2021年1月-6月期中平均)	161,985千株*1
③ 1株当たり当期純利益（6カ月分）（①÷②）	55.16円	15.40円

2021年12月期2Qの実績値

1株あたり純資産の算定



*1：発行可能普通株式総数は2021年6月末時点の状況を反映

*2：A種優先株式（除：自己保有分）1,504,702株分（普通株式：150,470,200株分）と第12回及び第14回-第17回新株予約権及び被支配株主持分に相当する純資産

免責事項

本資料は、当社の事業及び業界動向についての現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。これらの予想等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後、経済情勢や市場環境等の様々な要因により、事前の通知なくして変更される可能性があります。

本資料に関する問合せ窓口

経営管理部 IR担当

問合せページ：https://www.nbank.co.jp/ir_inquiry/